

令和6年度（2024年度）
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人難波学園
横浜栄養専門学校

作成日 令和7年3月

令和6年度の学校関係者評価委員会を開催しました。自己点検評価をもとに昨年度からの改善点、今後の課題についてご意見を頂きました。また、教育の改善点等について意見交換を行いました。

1 日時 令和7年3月6日(木) 14:00～

2 場所 横浜栄養専門学校 第1校舎

3 次第

1. 横浜栄養専門学校 校長挨拶
2. 学校評価会議
3. 横浜栄養専門学校 校長総評

4 配布資料

「令和6年度自己点検評価結果及び課題と今後の改善について」

「令和6年度栄養士実力認定試験結果」

5 出席者

学校評価委員

株式会社 安田物産	総務部副部長	天野一
株式会社 レパスト	人事部課長代理	三枝也寸志

学校法人難波学園

横浜栄養専門学校	校長	久島昌平
横浜栄養専門学校	庶務課長	長谷川直之
横浜栄養専門学校	教務課長	谷原暢子

点検項目

教育目標	1
教育活動「教育課程」	2
「教育課程の実施」	3
「学習指導・評価」	4
「テキスト・教材」	5
「研修」	6
学生支援	7
施設・設備	8
安全管理・防災	9
法令等の遵守	10

※普通(3.0)評価未滿については、今後の改善について記載した。

教育目標 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価
		十分 ← 普通 → 不十分
		5 4 3 2 1
教育目標	①教育の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
	②教育の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.7
	③教育目標・教育計画はその達成の程度を評価するシステム(計画・実施・評価)が確立されているか	3.7

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	教育課程	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8				
		②教育課程の編成にあたっては社会や就職先の要望が反映され、社会情勢の変化に柔軟に対応しているか	3.6				
		③教育課程の編成にあたっては職業人としてのマナーやしつけ教育などに配慮しているか	3.8				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程の実施」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	教育課程の実施	①授業科目の学年進行や時間配当は適当であるか	3.9				
		②教員の持ち時間は過重にならないようにほぼ平均化されているか	3.5				
		③授業人数は基準のとおりであり、授業形態に少人数指導、習熟度別指導が導入されているか	3.9				
		④2学期制は教育活動に合致しており、長期休業や授業計画・各種行事と連動して機能しているか	4.4				
		⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携がとれているか	3.5				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「学習指導・評価」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	学習指導・評価	①授業計画書(シラバス)を作成し、学生に配布して年間学習指導計画を示しているか	4.8				
		②学生の授業アンケートや授業研究の評価を生かした学習指導を行なっているか	4.2				
		③成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.7				
		④学生に対する各種ガイダンスを実施しているか	4.5				
		⑤成績会議は有効、適切に機能しているか	4.3				
		⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0				
		⑦職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.8				
		⑧退学率の低減が図られているか	4.0				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「テキスト・教材」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	・テキスト・教材	①テキストは理解しやすく学習目標の達成に合ったものになっているか	3.8				
		②新しい情報がもり込まれるなど実践に即した内容になっているか	3.7				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「研修」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	研修	①「授業研究・教職員研修会」を実施しているか	3.2				
		②関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みがおこなわれているか	3.0				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価
		十分 ← 普通 → 不十分
		5 4 3 2 1
学生支援	①クラス担任制による生活指導が行なわれているか	4.6
	②学生が悩んだり、困ったりしたときに、気軽に相談に相談にのっているか	4.5
	③学校生活不適應、学業不振、問題行動などの早期発見、早期指導の組織体制が整っているか	4.2
	④学生相談(カウンセリング)体制が整備され、指導が有効に機能しているか	2.8
	⑤就職試験対策等の授業が行なわれているか	3.8
	⑥就職のための模擬面接が行われているか	3.8
	⑦就職のための個人指導が行なわれているか	4.5
	⑧大学等進学希望者のための指導が行なわれているか	3.5
	⑨求人開拓のための活動が行なわれているか	3.5
	⑩学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.2
	⑪保護者と適切に連携しているか	4.3
	⑫卒業生への支援体制はあるか	3.9

1 課題

④専門的なカウンセラーの常駐がない

2 今後の改善方法

④学生からの相談は、全職員で対応している

3 特記事項

評価委員より：専門的なカウンセラーが必要な学生が少ないのであれば、コスト的にも必要ではないと考えられる。

評価委員より：職員の中で対応チームを作り、運営していけばよいのではないかな。

施設・設備 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価
		十分 ← 普通 → 不十分
		5 4 3 2 1
施設・設備	①学習目標を達成し、技能を身につけるための実習室(実験室)が整備され適切に活用されているか	3.8
	②学習目標を達成し、技能を身につけるための視聴覚教材・情報機器が整備され適切に活用されているか	3.3
	③学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1
	④図書室は学習目標を達成させるための図書が備えられ、適切且つ十分に活用されているか	3.3

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

安全管理・防災 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価
		十分 ← 普通 → 不十分
		5 4 3 2 1
安全管理・防災	①校内施設設備の安全点検を定期的 to 実施し、不備な箇所は改善をしているか	3.2
	②学校の実態に応じた危機管理マニュアルを作成し、緊急時に的確に対応できる体制が整っているか	3.4
	③不審者の侵入による緊急事態に備えた訓練を実施し、その反省を活かせるようになっているか	3.2
	④防災に対する体制は整備されているか	3.2

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

法令等の遵守 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価
		十分 ← 普通 → 不十分
		5 4 3 2 1
法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.2
	②個人情報を収集する際に、その収集の目的を明らかにして、必要な範囲で収集し、利用しているか	4.2
	③個人情報の保護を行なうため統括責任者、管理者、担当者を配置し、適切な管理を行なっているか	4.0
	④自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8
	⑤自己評価を公開しているか	4.2

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

その他の意見交換

栄養士実力認定試験について

職員:令和6年12月に、全国栄養士養成施設協会が実施する栄養士実力認定試験を受けた。結果は全国の専門学校平均点を上回ることができた。成績優秀者として、2名が同率の16位となった。

評価委員:対策授業などは行っているのか。

職員:行っている。評価方法などを改善しながら、今後も学生の実力を向上させて行きたい。

企業との連携について

職員:学生募集など、企業と連携できることはないか。

評価委員:高校生に対して、就職した栄養士がどのような仕事をしているのかを説明してはどうか。写真等も交えながら説明するとよいのではないか。

評価委員:他校ではあるが、校外実習前に出前授業として、心構え等を話に行ったことがある。

職員:本校でも事前授業として行っており、卒業生に協力してもらっている。次年度一人後任を探しているので、ご協力をお願いしたい。

企業が必要とする人材育成について

職員:前回学生の PC スキルについてのご意見を頂いた。少しずつ授業で取り入れるよう改善している。他に学校に要望はあるか。

評価委員:業務としてコミュニケーション能力が必須。個人の資質もあるが、学校でも指導してほしい。

職員:コミュニケーション能力については、実技科目の中で、学生同士のディスカッションや、班で意見をまとめ、発表するなどで向上を図っている。

評価委員:PC について、メールの返信ができない社員がいる。採用活動では LINE を利用し始めたが、スマホ普及が PC スキルの低下を引き起こしている。

職員:自宅に PC がない学生も多く、希望者には簡単な操作を教えられるような取り組みも考えている。

職員:学生はスマホの活用がすごくなっている一方、郵送の仕方がわからないなど、想像を超えた問題が出てきている。

評価委員:郵便物に切手が貼られていない事例もあった。